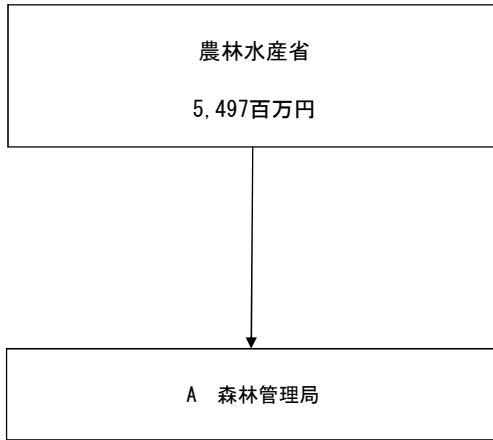


平成24年行政事業レビューシート (復興庁、農林水産省)

事業名	森林整備事業(直轄・復興関連事業)		担当部局	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 林野庁国有林野部業務課		作成責任者	参事官 尾関 良夫 業務課長 奥田 辰幸	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～未定		担当課室					
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名	⑫森林の有する多面的機能の発揮				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	森林・林業基本法第12条 特別会計に関する法律第158条、第164条 森林法第7条 国有林野の管理経営に関する法律第3条、4条、6条		関係する計画、 通知等	森林・林業基本計画(平成23年7月26日閣議決定) 全国森林計画(平成23年7月26日閣議決定) 森林整備保全事業計画(平成21年4月24日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	適切な森林整備により、森林の公益的機能を持続的に発揮する「災害に強い森林づくり」を推進するとともに、事業の実施により山村地域における雇用の確保に資する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	東日本大震災により林地荒廃等の森林被害が発生した被災地等において、適切な森林施業と簡易な路網の開設や既設路網の機能強化等の基盤づくりを実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算					1,514(農水省計上) 3,983(復興庁計上)	
		繰越し等						
		計					5,497	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	水土保全機能の維持向上 育成途中にある水土保全林(土壌の保持や保水機能を重視する森林)のうち、機能が良好に保たれている森林の割合 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値		成果実績	%	-	-	73.70 (75.48)	78.68
			達成度	%	-	-	94 (96)	
	森林資源の循環利用 森林施業の集約化や機械化に必要な路網等の林業基盤の整備により、木材の安定的かつ効率的な供給が可能となる育成林の資源量 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値		成果実績	百万m3	-	-	1,170 (1,150)	1,210
		達成度	%	-	-	97 (95)		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込
	森林施業実施面積		活動実績 (当初見込み)	千ha				- (14)
単位当たり コスト	-		算出根拠	執行額/活動実績				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	森林環境保全整備事業費 (農水省計上)	-	1,514					
	森林環境保全整備事業費 (復興庁計上)	-	3,983					
	計	-	5,497					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		<p>【過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されているか】 間伐等の実施に当たり必要となる収穫調査業務及び素材検知業務については、指定調査機関の拡大による競争性の確保や簡素な調査方法の対象箇所の拡大等によるコスト縮減に取り組んだ。その結果、平成23年度は対前年比で平均応札者数は2割増加、平均落札率は3.2%減少した。 林道の安全通行を確保するために必要な国有林林道等交通安全管理業務については、業務の分割発注及び業務内容や一般競争入札に係る競争参加の資格について説明会やホームページで分かりやすく説明するなど、競争性の向上に取り組んだ。その結果、平成23年度は対前年度比で平均応札者数は2割増加、平均落札率は8.1%減少した。 以上のように事業仕分け等の結果について適切に反映したうえで事業案を作成している。 【事業の成果目標、活動指標が立てられているか。また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】 本事業の成果目標、活動指標は適切かつ具体的に設定している。また本事業は国が所有する国有林野内で行う震災復興関連事業であり、地理的特性等を熟知した地方支分部局をもつ、国自らが行うことが最も効率的である。 【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか。】 災害に強い森林づくりの観点からも、被災地等において適切な森林整備を行うことについては、被災地はもとより国民のニーズも高く、優先度が高い事業である。 【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッションなのか】 本事業は、「東日本大震災からの復興の基本方針」に基づき、森林の公益的機能の発揮による「災害に強い森林づくり」の推進を目的として国が行う震災復興関連事業であり、国土の約2割を占める国有林野の管理経営を行う当庁の中核的なミッションである。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>指示されている「過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等」、「事業の成果目標及び活動指標の設定等」、「広い国民からのニーズへの対応」、「当省のミッションか否か」等に係る点検を行ったが、新規に要求する事業としては問題ない。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>この事業は平成24年まで国有林野事業特別会計で実施していた事業である。</p> <p>○「事業仕分け第3弾」 No.15 国有林野事業特別会計 枠組みのあり方（主体・区分経理）：一部廃止し、負債返済部分は区分経理を維持 財産・債務のあり方（負債）：抜本的見直し（負債は区分経理）</p> <p>○上記に関連し、国有林業特別会計の廃止、一般会計化を規定した「国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律」が平成24年6月21日に可決、成立、同月27日に公布されたところ。（施行日は平成25年4月1日）</p> <p>【参考url】「国民の森林 国有林」パンフレット http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/pdf/kokuyurin_panfu.pdf</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	0400 3補0052

※平成25年度予定を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)